

平成29年度 ニシン漁獲物調査速報(4)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

1月31日に厚田地区で出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。石狩湾漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

先週から今週ははじめにかけてのシケ後の漁となりましたが、依然として高い来遊量となっているようです。厚田や石狩では大サイズが主体となっており、序盤に比べ大型魚が(特大サイズ)徐々に減ってきているようです。

2. メスの完熟率(表1)

この日、測定したメス標本には1尾だけ未熟が混ざっていましたが基本的には完熟状態でした。ただし、漁獲物の中にはヌケもみられてきているようですので、大型魚主体で産卵が進んでいるようです。

3. 年齢別尾又長組成(図1)

この日の標本船の使用目合は2.2、2.3寸目であり、魚体は尾又長28~29cmモードの4年魚が全体の77%を占めました。また27cm以下には3年魚が混ざってきており、2.1寸目以下を用いると3年魚が主体の漁になる可能性が高いため、当面は2.2寸以上を用いて4年魚以上を狙った操業となるよう期待しています。産卵場水温は4~5℃と平年並みに下がってきましたが、余市周辺では連日、群来が観察され産卵が進んでおり、今週末は海況も落ち着き日射もあるようなので、湾内各所で産卵が一気に進む可能性もあります。

銘柄	メス込	オス大	オス大中	合計
漁獲重量(kg) 標本船のみ	1,192.00	814.00	85.00	2,091.0
漁獲尾数	4,310	2,912	351	7,574
測定尾数	31	20	22	73
測定尾数(精密)	31	20	22	73
平均尾又長(mm)	286	288	278	286.2
平均体重(g)	277	280	242	276.1
雌の比率	1.00	0.00	0.00	—
完熟率*	0.97	—	—	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

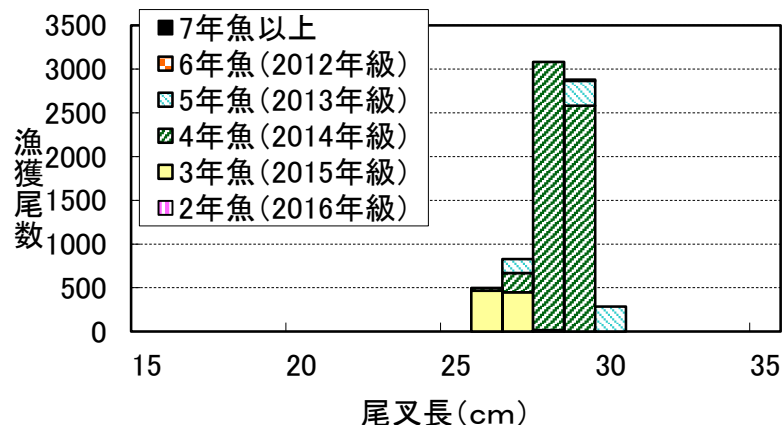


図1 2018年1月31日厚田地区 年齢別尾又長組成